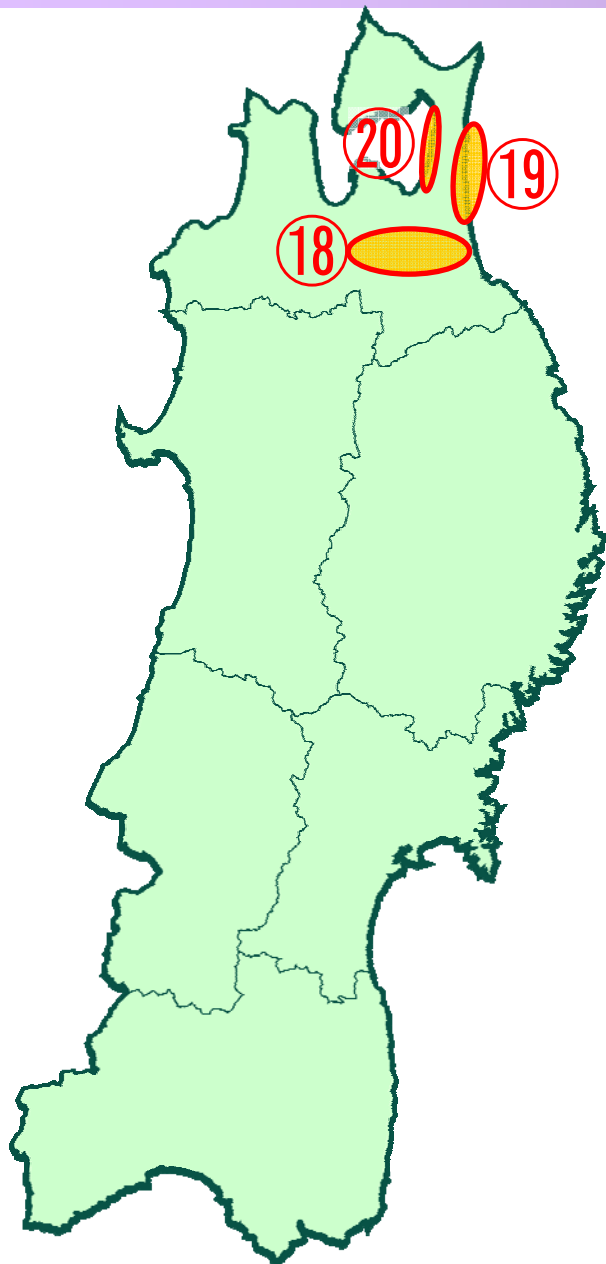


平成21年度  
新規登録ルートへの申請概要

# 応募ルート一覧 ～東北地方～

TOUHOKU



## 東北風景街道協議会に登録申請があったルート

	風景街道名称	パートナーシップ名称	中心となる道路 (主な路線)	県名
⑱	十和田奥入瀬 浪漫街道	十和田奥入瀬浪漫街道 運営委員会	国道4・45・102・394号 (市)官庁街通り	青森
⑲	奥州街道と 縄文のみち	奥州街道と縄文のみち 運営協議会	国道4・338・394号 県道8・121号	青森
⑳	黄花紅の東むつ湾 ルート	黄花紅の東むつ湾ルート 景観づくり運営委員会	国道4・279号	青森

※番号は登録申請受付順

# 十和田奥入瀬浪漫街道

NO.1

TOUHOKU

## 活動目的

十和田湖・奥入瀬溪流の自然が織り成す美しい景観をより惹きたて、豊かな自然の恵みによって得られる食や温泉、自然体験を通じた癒しの時間を誰もが風景の感動とともに味わえる街道づくりを目指すものである。

## 中心となる道路および活動範囲

- ◆JR七戸十和田駅～国道4号経由十和田市官庁街通り、国道102号～奥入瀬十和田湖ルートとその周辺エリア
- ◆JR七戸十和田駅～国道4号経由国道45号～おいらせルートとその周辺エリア
- ◆JR七戸十和田駅～国道394号～国道103号、国道102号～奥入瀬十和田湖ルートとその周辺エリア

## 構成団体 ～風景街道パートナーシップ～

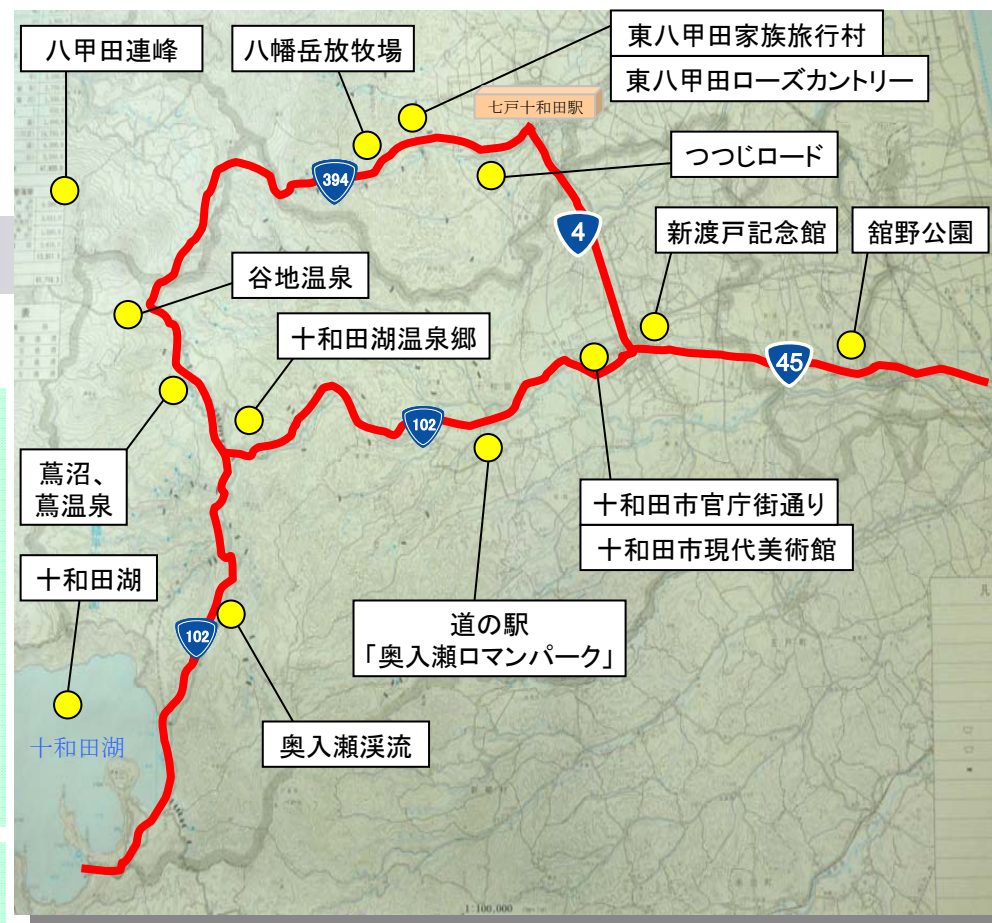
名称:十和田奥入瀬浪漫街道運営委員会  
(代表者:渡部 毅)

### 【道路管理者以外の組織】

七戸町、六戸町、おいらせ町、十和田市観光協会、七戸町観光協会、六戸町観光協会、おいらせ町観光協会、十和田市商工会議所、十和田湖商工会、七戸町商工会、六戸町商工会、おいらせ町商工会、十和田湖ふるさと活性化公社、十和田湖国立公園協会、十和田湖温泉郷町内会、十和田湖奥入瀬観光ボランティアの会、(社)青森県建設業協会 上北支部建設経営研究会(三K会)、十和田青年会議所、上北森林組合、JA八甲田農業協同組合、JA十和田おいらせ農業協同組合、県立十和田西高校、稲生川土地改良区、奥瀬堰土地改良区、十和田市町内会連合会、東北電力(株)十和田営業所、(株)七戸物産協会、奥入瀬川クリーン対策協議会、NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学

### 【道路管理者】

国土交通省青森河川国道事務所、青森県上北地域県民局、十和田市



## 地域資源

### ■ 景観資源

八甲田連峰や八幡岳の雄大な山々の眺望、奥羽種畜牧場のつつじロードと広々とした放牧場や田代平高原などの風景、松と桜並木の十和田市官庁街通りと広々とした田園風景、舘野公園の二千本の桜と水辺風景 など

### ■ 自然資源

八甲田連峰、鳶沼、十和田湖、奥入瀬溪流 など

### ■ 歴史資源

十和田市立新渡戸記念館、旧苦米地家住宅 など

### ■ 文化資源

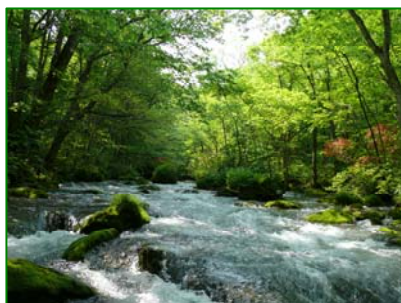
十和田市現代美術館 など

### ■ 体験・交流資源

東八甲田ローズカントリー、東八甲田家族旅行村 など

### ■ 施設・情報資源

十和田湖温泉郷、鳶・猿倉・谷地温泉、道の駅「奥入瀬」ロマンパーク



### ▲ 奥入瀬溪流

日本を代表する景勝地。全長14kmの散策コースは、各々のペースに合わせた気楽な散策ができる。



### ▲ 八甲田連峰

奥羽山系の八甲田連峰など、パノラマ展望的な雄大な景観が楽しめる。国道394号沿いからも眺望することができる。

## 活動内容



- フラワーゾーンの整備 (H21～H23)
- 案内看板等検討 (H21～H23)
- ビューポイント選定、整備 (H21～H22)
- 休憩・案内施設設置と整備 (H21～H25)
- フォーラム、講演会の開催 (H21～H25)
- 地場産品の商品開発 (H21～H25)
- カーボンオフセット活動 (H21～H25)
- 体験学習活動の展開拡大 (H21～H25) など

### ▲ ボランティアガイド

平成9年に十和田・奥入瀬観光ボランティアの会を設立し、観光ガイド、情報提供、PR活動を行っている。

### 今後のスケジュール

事業内容	H21	H22	H23	H24	H25
花、木の植栽など					
案内板・誘導看板設置					
休耕田の活用					
休憩場所へのイス、テーブル設置					
オープンカフェ開設、足湯の整備					
ビューポイント整備					
十和田湖畔(宇樽部)の景観阻害木の除去					
景観づくりフォーラム等開催					
景観ガイドラインの作成					
花壇、景観等コンクールの実施					
自然ガイド養成講座の開設					
体験場所の整備及び体験学習活動展開拡大					
特産品等の商品開発及び販路の拡充					
環境保全対策(カーボンオフセットなど)					

# 十和田奥入瀬浪漫街道

NO.3

TOUHOKU

## 登録申請内容 チェックリスト

風景街道名称：十和田奥入瀬浪漫街道		
判定例：○→満足している、×→不十分である		
登録条件	申請および確認事項	判定
1 風景街道パートナーシップが組織されている	十和田奥入瀬浪漫街道運営委員会（道路管理者以外として「NPO法人十和田奥入瀬郷づくり大学」など、道路管理者として「国土交通省青森河川国道事務所」「青森県上北地域県民局」などで構成）	○
2 日本風景街道の地域資源のうち、いずれか一つ以上の資源を申請している「風景街道」に有している	・景観・自然資源である「十和田湖」「奥入瀬溪流」「八甲田連峰」などメインとなる資源は中心となる道路沿いにある。	○
3 風景街道パートナーシップが日本風景街道の理念に賛同し、それらに合致した活動を継続的に実施している	「十和田湖・奥入瀬溪流の自然が織り成す美しい景観をより惹きたて、食や温泉、自然体験を通じた癒しの時間を誰もが風景の感動とともに味わえる街道づくりを目指す」という活動目的が日本風景街道の理念に合致している。特に、構成団体の十和田湖奥入瀬観光ボランティアの会は、これまでも十和田湖、奥入瀬溪流の見所や魅力について観光ガイドを実施しており、地域の受け入れ体制の強化に力を注いでいる。	○
4 申請している「風景街道」に「中心となる道路」が存在している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道4号 東京都中央区と青森県青森市を結ぶ延長約870kmの国道であり、申請区間の十和田市～七戸町は平地部を通過するルート。</li> <li>・国道45号 宮城県仙台市と青森県青森市を結ぶ延長約510kmの国道であり、申請区間のおいらせ町～十和田市は平地部を通過するルート。</li> <li>・国道102号 青森県弘前市と青森県十和田市を結ぶ延長約110kmの国道であり、申請区間は主に山地部を通過するルート。</li> <li>・国道394号 青森県むつ市と青森県弘前市を結ぶ延長約90kmの国道であり、申請区間は山地部を通過するルート。</li> </ul>	○
5 風景街道パートナーシップに暴力団その他の反社会的活動を行う団体が含まれていない	含まれていない	○
6 風景街道パートナーシップが特定の政治的及び宗教的信条にもとづく活動を行っていない	政治的・宗教的信条にもとづく活動を行っていない	○
活動にあたってのアドバイス		
<p>・全国に代表される一大観光地であり、その資源のすばらしさは言うまでもない。今後は、新幹線が開業するなど、さらなる観光入り込みが想定され、八甲田山を眺望するビューポイント整備や簡易駐車帯などの受け入れ体制の強化も期待される。</p>		

# 奥州街道と縄文のみち

NO.1

TOUHOKU

## 活動目的

上北地域の自然特性である地形・海・湖沼・気候が織りなすこの地域の特産品『食・温泉』を楽しみ、そして人と触れ合うことで、上北地域の魅力を満喫して貰える地域づくりをすすめる。

## 中心となる道路および活動範囲

- ◆奥州街道・縄文エリア: 新幹線七戸十和田駅～東北町～六ヶ所村(物見崎海岸)に至るルートとその周辺エリア
- ◆太平洋・ウインドミルエリア: 六ヶ所村(物見崎海岸)～三沢市(淋代海岸)へ至るルートとその周辺エリア
- ◆小川原湖・仏沼エリア: 新幹線七戸十和田駅～東北町～三沢市(小川原湖周辺)へ至るルートとその周辺エリア

## 構成団体 ～風景街道パートナーシップ～

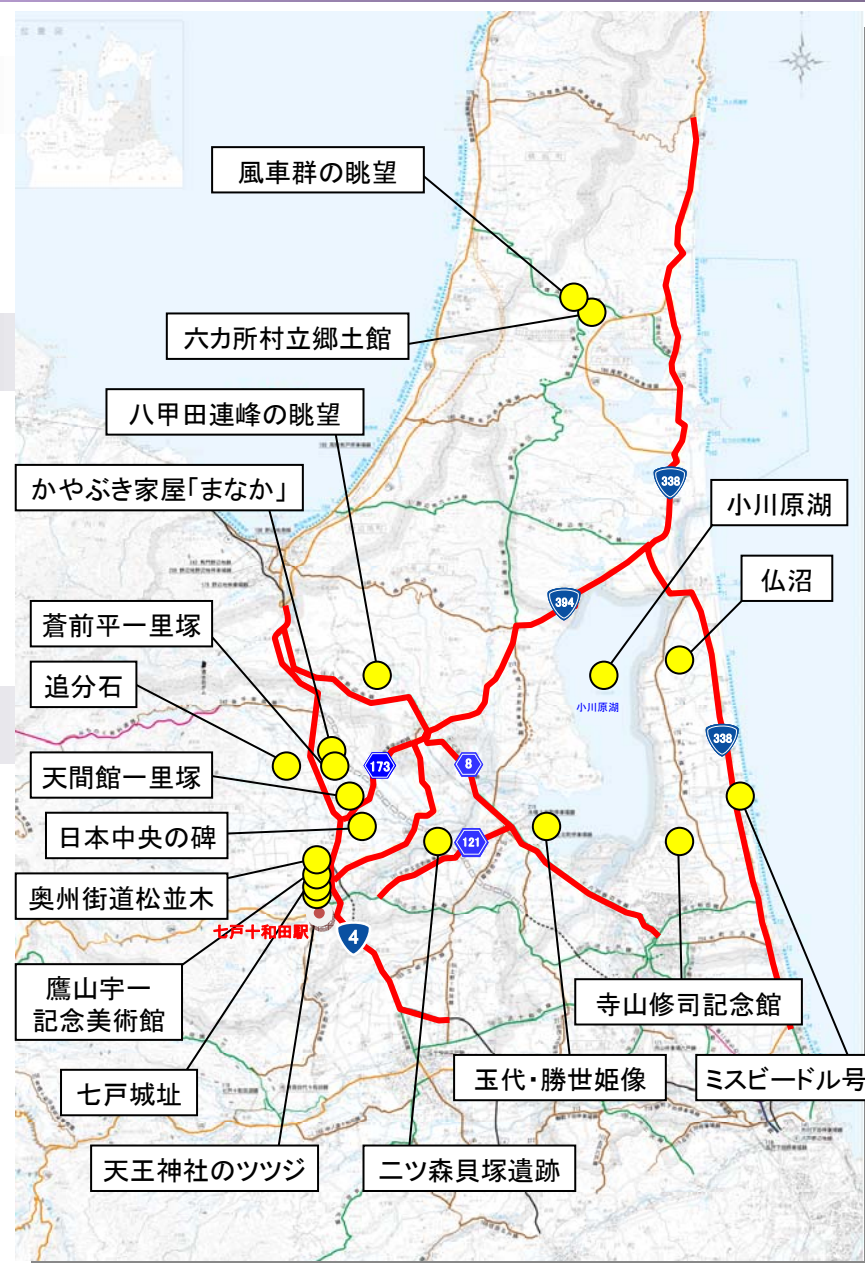
名称: 奥州街道と縄文のみち運営協議会  
(代表者: 山田 美津雄)

### 【道路管理者以外の組織】

NPO 法人 アルキメデス、小川原湖191 里づくり協議会、上十三広域連携塾、東北町観光協会、東北町特産品販売推進協議会、あおもりかいどう会議、NPO法人マンパワー、NPO法人シーファンデーション、NPO法人テイクオフ三沢

### 【道路管理者】

国土交通省青森河川国道事務所、青森県上北地域県民局



## 地域資源

### ■ 景観資源

奥州街道松並木の歴史観あふれる風景、八甲田連峰・八幡岳の彩ある四季の眺望、小川原湖・仏沼・太平洋の朝・夕のコントラストな光の演出、風車群の未来を見据えた眺望

### ■ 自然資源

七戸町天王神社のツツジ、太平洋上に繰り広げられる光のペイジエント光柱現象 など

### ■ 歴史資源

七戸城址、天間館一里塚、蒼前平一里塚、追分石、ニッ森貝塚遺跡、日の本中央の碑、ミスビードル号発信地 など

### ■ 文化資源

鷹山宇一記念美術館、天王つつじまつり、玉代・勝世姫像、おがわら湖 湖水まつり など

### ■ 体験・交流資源

かやぶき家屋「まなか」、六ヶ所村立郷土館 など

### ■ 施設・情報資源

道の駅「しちのへ」「おがわら湖」「みさわ」、寺山修司記念館 など



▲一里塚(蒼前平)

全国の一里塚の中では最もよく保存されていると言われている。県史跡に指定。



▲ラムサール条約登録地「仏沼」

夕方にはオオセッカのさえずりとともに、八甲田連峰の夕陽が溶け込む。

## 活動内容

- 地域資源の再確認・調査(H21～H25)
- 沿道植栽計画検討・実施(H21～H25)
- 縄文遺跡PR事業実施(H21～H25)
- 奥州街道利活用計画検討・実践(H21～H25)
- バスツアーの検討・実施(H22～H25) など



### ◀奥州街道完歩ツアー

平成17年度より数年かけて上十三地域※の奥州街道を全て踏破し、「上十三地域歩ける奥州街道情報」の作成を目的として開催している。

※上北郡、十和田市、三沢市の頭文字を取って「上十三地域」という。

### 今後のスケジュール

事業内容	H21	H22	H23	H24	H25
地域資源の再確認・調査	■	■	■	■	■
沿道植栽設置場所の検討	■	■	■	■	■
新規及び既設沿道植栽実施	■	■	■	■	■
縄文遺跡PR事業の実施	■	■	■	■	■
奥州街道利活用計画	■	■	■	■	■
奥州街道利活用実践	■	■	■	■	■
風景街道と関係市町村の協働	■	■	■	■	■
清水マップの為の調査および作成	■	■	■	■	■
エリア協議会のワークショップの開催・ルートPR	■	■	■	■	■
風景街道バスツアーの開催	■	■	■	■	■
市町村ツアーガイド養成と実践計画	■	■	■	■	■
ツアーガイド実践・実施	■	■	■	■	■
市町村周遊・福祉バス等の路線調査及び市町村協働によるバス運行の可能性の検討	■	■	■	■	■
周遊・福祉バスの実践ツアー開催	■	■	■	■	■
七戸十和田駅からのバスツアーの実施	■	■	■	■	■
水環境の保全と水に関わる事業	■	■	■	■	■

## 登録申請内容 チェックリスト

風景街道名称：奥州街道と縄文のみち		
判定例：○→満足している、×→不十分である		
登録条件	申請申請及び確認事項	判定
1 風景街道パートナーシップが組織されている	奥州街道と縄文のみち運営協議会（道路管理者以外として「NPO法人アルキメデス」など、道路管理者として「青森河川国道事務所」「青森県上北地域県民局」などで構成）	○
2 日本風景街道の地域資源のうち、いずれか一つ以上の資源を申請している「風景街道」に有している	景観資源である、「奥州街道の松並木」などは、中心となる道路沿いにある。保存状態の良い蒼前平一里などもある他、八甲田山を一望できるスポットが存在する。	○
3 風景街道パートナーシップが日本風景街道の理念に賛同し、それらに合致した活動を継続的に実施している	「上北地域の自然特性や特産品を活用し、上北地域の魅力を満喫してもらえる地域づくりを進める」などの活動目的が、日本風景街道の理念に合致している。特に、構成団体のNPO法人アルキメデスは、これまでも「奥州街道完歩ツアー」など街道をテーマとした活動を展開している。	○
4 申請している「風景街道」に「中心となる道路」が存在している	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国道4号 東京都中央区と青森県青森市を結ぶ延長約870kmの国道であり、申請区間の十和田市～七戸町は平地部を通過するルート。</li> <li>・国道338号 北海道函館市と青森県下田町を結ぶ延長約230kmの国道であり、申請区間は平地部を通過するルート。（太平洋沿岸沿いルート）</li> <li>・国道394号 青森県むつ市と青森県弘前市を結ぶ延長約90kmの国道であり、申請区間は平地部を通過するルート。</li> </ul>	○
5 風景街道パートナーシップに暴力団その他の反社会的活動を行う団体が含まれていない	含まれていない	○
6 風景街道パートナーシップが特定の政治的及び宗教的信条にもとづく活動を行っていない	政治的・宗教的信条にもとづく活動を行っていない	○
活動にあたってのアドバイス		
<p>・広域的なルートに様々な資源が点在するが、一部の資源については道路との関わりが希薄に感じられる。一つ一つの資源は素晴らしいので、それら資源を繋ぎ合わせる道路をいかに楽しいものにしていくかが今後の課題と思われ、案内・誘導看板の整備・充実が望まれる。</p>		



# 黄花紅の東むつ湾ルート

## 活動目的

地域の人々が誇りを持ち「食」や「歴史」「伝統文化」の資源をさらに磨きあげ、訪れる人々に感動を与える景観づくりを推進する

## 中心となる道路および活動範囲

国道4号野辺地町周辺～国道279号十符ヶ浦～杜の踏切までの野辺地線、国道279号杜の踏切～下北ドライブインまでの横浜線とその周辺エリア

## 構成団体 ～風景街道パートナーシップ～

名称: 黄花紅の東むつ湾ルート景観づくり運営委員会  
(代表者: 鳥山 洋一)

### 【道路管理者以外の組織】

野辺地町観光協会、野辺地町商工会青年部OB会、野辺地町観光史跡ボランティア会、横浜町観光協会、大豆田土地改良区、NPO 法人エッグ、NPO 法人菜の花トラストin 横浜町

### 【道路管理者】

国土交通省青森河川国道事務所、青森県上北地域県民局



## 地域資源

### ■景観資源

のへじ海浜公園十符ヶ浦海水浴場、三保野公園、大豆田ゆとりの駐車帯、繁殖牧場、横浜町砂浜海岸、国道279号沿いの菜の花畑

### ■文化資源

のへじ春まつり、のへじ祇園まつり、旧野村家住宅離れ(行在所)、菜の花フェスティバル、幸田露伴・大町桂月歌碑、ホテル村

### ■歴史資源

日本最古の防雪原林、常夜燈、南部・津軽藩境塚、横浜町八幡神社

### ■体験・交流資源

国設野辺地まかど温泉スキー場

### ■施設・情報資源

野辺地町観光物産PRセンター、道の駅よこはま菜の花プラザ



### ▲国道279号沿いの菜の花畑

国道沿いから見える菜の花一色に染まった広大な畑は、なだらかな丘陵地を背景に、懐かしい原風景を見ることができる。



### ▲常夜燈

1827年に野辺地町の廻船問屋野村治三郎が建てたと言われ、国内に現存する中ではきわめて古い。現在は野辺地の浜町にあり案内看板が設置されている。

## 活動内容

- 植栽活動・清掃活動(H21~H25)
- 観光名所やビューポイントなど休憩所の整備(H21~H23)
- 地域の自然、歴史、文化の保護・PR活動(H21~H25)



### ▲菜の花畑の整備

通年事業として「休耕地を菜の花畑に大変身プロジェクト」を実施している。



### ▲ボランティアガイドの派遣

平成18年より野辺地町の観光や史跡、文化財の見学を目的とした来町者及び各種団体に対しボランティアガイドの派遣を実施している。

## 今後のスケジュール

事業内容	H21	H22	H23	H24	H25
休耕地を菜の花畑に大変身プロジェクト					
はまなす移植作業、苗植え込み					
キングサリ種植え、挿し木作業					
休憩場所へのベンチ設置					
沿道&海岸のゴミ拾い					
看板、案内板の整備					
景観診断、普及PR活動					

## 登録申請内容 チェックリスト

風景街道名称：黄花紅の東むつ湾ルート		
判定例：○→満足している、×→不十分である		
登録条件	申請および確認事項	判定
1 風景街道パートナーシップが組織されている	黄花紅の東むつ湾ルート景観づくり運営委員会（道路管理者以外として「NPO 法人菜の花トラストin横浜町」など、道路管理者として「青森県上北地域県民局」などで構成）	○
2 日本風景街道の地域資源のうち、いずれか一つ以上の資源を申請している「風景街道」に有している	・景観資源である「常夜燈」や「菜の花畑」は中心となる道路の近隣に存在する。（菜の花畑については、展望台が整備されている）	○
3 風景街道パートナーシップが日本風景街道の理念に賛同し、それらに合致した活動を継続的に実施している	「地域の人々が誇りを持ち「食」や「歴史」「伝統文化」の資源をさらに磨きあげ、訪れる人々に感動を与える景観づくりを推進する」ことが活動目的としてあげられており、日本風景街道の理念に合致している。特に、構成団体の「NPO 法人菜の花トラストin横浜町」は、「菜の花」を守り育てる活動として、「休耕田を菜の花畑に大変身プロジェクト」などの活動を実施しており、地域振興資源として活用している。	○
4 申請している「風景街道」に「中心となる道路」が存在している	・国道4号 東京都中央区と青森県青森市を結ぶ延長約870kmの国道であり、申請区間の野辺地町は平地部を通過するルート。 ・国道279号 北海道函館市と青森県野辺地町を結ぶ延長約130kmの国道であり、申請区間の横浜町～野辺地町は平地部を通過するルート。 （陸奥湾沿いを通過するルート）	○
5 風景街道パートナーシップに暴力団その他の反社会的活動を行う団体が含まれていない	含まれていない	○
6 風景街道パートナーシップが特定の政治的及び宗教的信条にもとづく活動を行っていない	政治的・宗教的信条にもとづく活動を行っていない	○
活動にあたってのアドバイス		
<p>・一部の資源について道路との関わりが希薄に感じられる。今後は、道路との繋がり強化に向け、案内・誘導看板などの整備・充実が望まれる。また、中心となる道路は、陸奥湾に面した海岸線に沿うルートであり、その優位性を活かしたビューポイントなどの整備が期待される。</p>		